

放課後等デイサービス 夢門塾海老名 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾海老名

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・活動しやすいように区画分けを行っている。	スペースについては、引き続き適切に確保していくよう努める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・マンツーマンも含め、適切に配置されている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・特に余計な物は置かず整っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・毎日清掃している。 ・スペースに応じた活動環境を整えている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別の部屋は、体調不良や疲労時など、必要に応じて利用できる環境を整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・朝と業務後にミーティングをしている。	非常勤職員への情報共有の工夫に努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・保護者アンケート等を行っている。	一部で口頭や雑談のような形で共有にとどまる場合があるため、今後は全職員に確実に伝えるよう、共有方法の統一と徹底に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・朝と業務後にミーティングをしている。 ・ミーティングや支援終了後に、いろいろな意見を交換している。	会議内容を全職員に周知できるよう努めます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・業務改善できるように、話しやすい環境づくりをしている。	日頃から書類や記録の整理に努める。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・社内研修毎月参加している。	参加するだけでなく、学んだことを日々の支援に活かせるよう考えていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・5領域を意識したプログラムを作成し、公表している。	新しい活動を日々検討し、支援の充実に努めています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・個別支援計画に基づき、必要に応じて個別対応を行っている。	誰でも対応できるように、常勤職員は把握に努める。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・ミーティングを行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・ミーティングで面談内容や支援方針を共有している。	共有はされているが、一時的になってしまいがちなこともあるため、引き続き徹底を行う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	・記録を見たり、支援終了後の様子を共有したりしている。	職員の知識向上に向け、段階的な育成に努めます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	4	・充分に考えて支援内容を設定している。	本人・家族・意向・地域と問われると、そこまでできていないようにも感じられるため、児発管を中心に検討を行う。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3	・月1回話し合っている。	チーム連携の強化に向け、改善に努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・インスタグラム等を参考にし、飽きのこないよう工夫をしている。	非常勤職員も含め、意見を広く募る仕組みの検討に努めます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・集団の中でも個別の対応が必要な場合はマンツーマン対応を行っている。	引き続き、より良い対応をしていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・一日の流れ、活動など事前に伝達を行っている。	安全を考慮し、早めの役割分担に努めます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・職員間での普段の会話から共有できている。 ・送迎から戻ってきた職員や掃除などをし終えた職員から、支援の行い方や気付いたことを全体に伝えている。 ・毎日、非常勤の職員も含め話し合いをすることが出来ている。	具体的な振り返りを行い、次の支援に活かしてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・記録を残している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	・モニタリングは児発管がしっかり行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	2	・意識をして支援をしていく意識は持っている。	児発管任せにならずに、職員全体がしっかり行えるようにスキルをあげていく。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・困っている児童がいたら声を掛けている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・サービス担当者会議で家庭や他事業所の過ごし方を教えてもらうなどできている。	関係機関との連携をより深めていけるよう努める。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	6	・定期的に連絡を取り合っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	・下校時刻が分からない時は、学校に連絡している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5	・保護者様からの要望があれば連絡を取るようになっている。	時々把握抜けがあり、時間の勘違いもあるため、情報収集の方法を徹底していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4	・資料の作成を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	・担当のスタッフが参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・公園や体育館では、行っている。	関わりを求めている方もいるため、取り入れ方を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	・定期的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時に子どもの業況を伝えている。 ・支援終了後や面談で変化があった場合は、その都度共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	・保護者からの希望があれば配布する。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	・利用契約時に丁寧な説明を行うことが出来ている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	・面談や送迎時に、保護者と話している。	引き続き、良い方法で取り組む。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2	・同意を得ている。	誰でも説明ができるように知識を身につける。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・児発管を中心に行っている。	もっと深く聞きとりができるよう、信頼関係を築いていく。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	・希望の声があれば、取り組むよう心の準備が出来ている。	今後、取り組みを意識していく。 保護者会が開催出来ないため企画をする。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・重説を用いて説明を行っている。	必ずしも結果にご納得頂いているか不安なこともあるが、引き続き丁寧な対応を心がけていく。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・コドモンで連絡、発信をしている。 ・夢通信で行事予定や行事の内容を詳しく記載している。	引き続き良い方法で取り組む。
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・充分留意できている。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・言葉以外にもいろんな方法を使って意思疎通を図っている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域との関りが少ないため、取り入れる機会を検討していく。
非常時等の対応		46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	・契約時に説明している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に活動で避難訓練を行っている。 ・プログラムで避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・壁などに貼って目に着くようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・定期的に取り組んでいる。	引き続き取り組みを行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	・何かあればすぐに連絡できる体制を取っている。	報告はしているが、連携出来ているか不安な部分もあるため、しっかり徹底を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	・ミーティングで話し合っている。	ヒヤリハットが少ないため、小さなことでも共有していけるように努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・定期的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・研修を通して理解している。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
・保護者様や職員全体が考えていること、感じていることを今回の評価で知ることができたため、今後1つひとつ改善できるように日々ミーティング等を丁寧に行い、スタッフ間で話し合いができるよう努めていく。						